

## 二、仙台支部誕生 野崎昌克支部長さんの時代 (昭和三三年～昭和三九年)

佼成会は、昭和三三年一月の真実本尊顕現の宣言以来、新たな時代を築こうとしていました。それまで行一筋の信仰から教学の導入による新たな佼成会の信仰づくりを励むこととなりました。それとともに、庭野日敬会長先生が教団の新しい息吹を全国の会員に注ぎ込むために、三三年一月から全国巡教を行いました。宮城県への巡教は昭和三四年六月でした。会長先生は、仙台市労働会館に山形・福島・岩手の三県からも参集した約千三百人の会員にむけて「仏教の合理性と世界平和」と題する講演を約一時間行いました。

佼成会の新しい歩みは、教団の組織にも及びました。ブロック制の実施がそれで、従来の導きの親子関係を主軸とするタテ系の組織から支部・法座を主軸とするヨコ系の組織に移行しました。これに伴い仙台準連絡所は、昭和三四年九月に仙台連絡所に昇格し茨城支部に所属する事になりました。茨城支部に包括されてから仙台地区には渡辺幹夫水戸第二支部長（後の東北教会長、第二代仙台支部長）や野崎昌克日立第三支部長（後の初代仙台支部長）などの茨城支部系の幹部が指導に訪れるようになりました。指導体制の変化に、仙台連絡所所属の会員の中には多少の戸惑いと不調和音が生じました。ですが、会員たちは失いかけた連帯感を取り戻すために、積極的に青年層を中心として教学研修を実施して佼成会の新しい息吹の吸収に努めました。

仙台支部の発足は、地元会員の予想以上に早く実現しました。昭和三四年十一月に仙台支部は発足し、野崎昌克支部長が初代の仙台支部長になりました。仙台支部は、

気仙沼市と本吉郡の一部を除いて宮城県全域を包括地域とし、これを仙台市を中心とした第一法座（志賀野充代主任）と石巻を中心とした第二法座（和地章雄主任）とで二分してスタートしました。

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和三四年（一九五九年）

一月

支部ブロック制施行

皇太子成婚式

六月二四日

宮城県に初めて庭野日敬会長先生ご巡教を頂く

（労働会館にて東北地区大会を開催し千三百人参集）

七月二十日

仙台準連絡所 一周年記念式典

八月九日

初の青年部教学研究会

九月

支部ブロック制により、茨城支部仙台連絡所となる

十一月二八日

仙台支部誕生 発足式

初代支部長 野崎昌克（前日立第三支部長）

第一法座（仙台市中心）主任 志賀野充代

第二法座（石巻市中心）主任 和地章雄

野崎支部長は、まず連絡所時代から会員の要望の強かった支部道場の建設計画の実現に着手しました。幸い支部発足早々に本部から道場建設の許可はおおりていました。

しかし、建設予定地の買収には手間どり昭和三六年六月に仙台市長町の水田六百坪の土地を購入することができました。建設作業は十一月から本格化し、仙台支部の会員だけでなく隣接の福島や盛岡の各支部からの応援も得て、文字通り東北地方の全支部をあげて進められました。これには、渡辺幹夫東北教区長も釜石支部からたびたび駆けつけて「単に仙台支部道場というだけでなく、東北地方の中心都市仙台に、本会の使命を内外に示す足がかりとしての意味をもつのもである」との意義を仙台支部の会員に訴えました。仙台支部道場は昭和三八年九月に入仏・落成式を行うこととなりました。

仙台支部は、道場建設の目標のもとに会員相互の一層の連帯感を深めていきました。そして、チリ津波地震救援活動、第三法座所（石巻市）の設置、青葉祭りへの参加、青年部員による清掃奉仕、壮年部による主人会の発足などを通して、支部の強固な基盤を築いていきました。



【昭和三十四年 会長先生ご巡教】  
仙台市労働会館



【会長先生と渡辺幹夫東北教会会長】

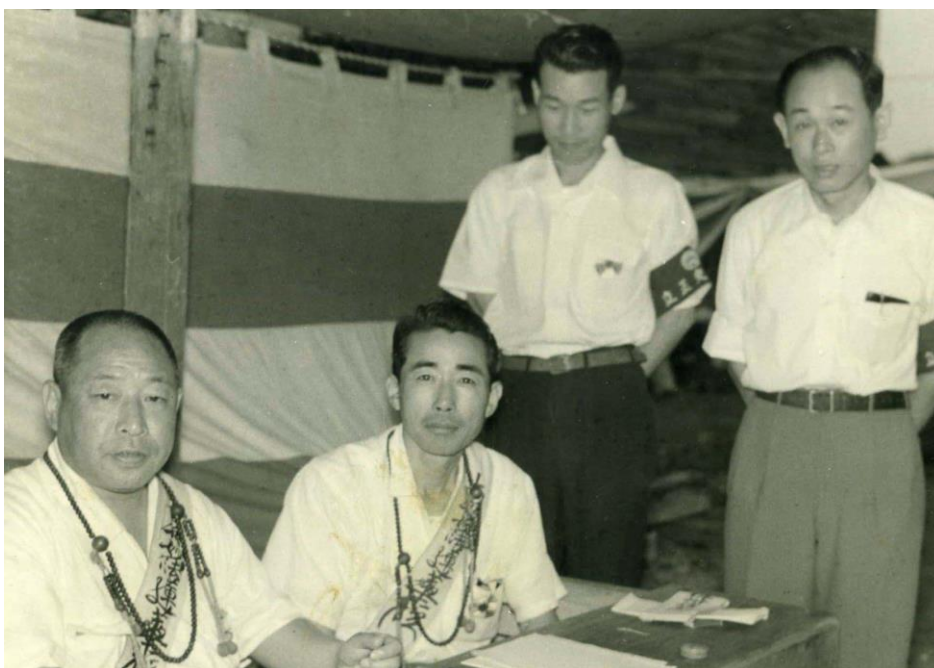




【昭和三十四年 仙台支部発足式】  
下段右から三人目野崎支部長 五人目和地主任



【昭和三十四年当時の様子】



【前列左から石川主任、和田さん】



【昭和三十四年当時の様子】  
 前列右から 志賀野、菊地（姉） 一人おき佐藤、石川主任  
 後列左から 灰島 一人おき高沢、菊地



【当時の青年部 秋保地区での法座】  
 右二人目から志賀野部長、斉藤勇、佐藤一栄  
 左から 秋山、阿部、太田国男

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和三五年（一九六十年）

一月一日 新体制の第一年 元旦初参り

一月 「交」を「佼」とし カラーテレビ放送開始

教勢 「六法座 三、三三三五世帯」

一月十七日 立正佼成会に改名 新体制 青年部編成なる

一月十五日 仙台支部 第一回青年部新春の集い開催（宮城県民会館）

五月 チリ地震津波救援活動

チリ地震津波

（本部外山和夫課長が派遣支援行い、  
石巻支部発足の原動力となる）

青葉祭り参加

七月 第一回東北ブロック幹部研修会（仙台支部） 講師 川手課長

八月五日 第三法座所（石巻市）設置 主任 佐々木康之

十月一日 御旗勧請になり御旗奉載を挙行

十月九日 お会式萬燈行列開催

十二月一日 仙台支部発足一周年記念式典

青年部による清掃奉仕開始 壮年部の主人会発足



【昭和三五年 一月十五日 仙台支部 第一回青年部新春の集い】

後列右から森、阿部、安田、斉藤、灰島、鈴木、二人おいて和地、二人おいて谷村（阿部）  
 前列右から伊藤、谷村（弟） 関根、大場、川村、佐々木、半沢、二瓶、熊谷（高代支部長）、伊東



左から熊谷（高代支部長）、二瓶、堀米、半沢、中村、谷村（阿部）、伊沢







【昭和三五年 チリ地震津波】  
本部より外山部長お見舞い



浩子幹部宅にて被害者に見舞金を贈る



七ヶ浜付近の被害



【昭和三五年七月 第一回東北ブロック幹部研修会】  
講師 川手課長



仙台駅で講師さんをお見送り  
左から和地主任、野崎支部長、秋山さん



【昭和三五年十一月二十日 会長先生お誕生会】  
後ろに見える垂れ幕  
「青年部の目的」は後の会員綱領



【昭和三五年 第三法座所開き（石巻）】



前列右から野崎支部長、和地主任、谷村（父）



【祝宴の様子】



【昭和三五年十月九日 初めての公会式 万燈行列】







【壮年部万灯班】 この万灯は阿部さんが  
 (現在青葉支部壮年部) 親支部の新宿支部で  
 写した写真を見ながら壮年部で作成しました。  
 中央 谷村(父) 前列右二人目 畑部長



【青年部まとい班】 白いまといは  
 谷村(父)さんが作りしました。頭の  
 部分が木製で大変重いそうです。  
 後列左 谷村(弟) 森 前列左 半沢



【昭和三五年の女子部】 前列左から  
 和地さん、二瓶さん、熊谷さん  
 (高代支部長)、谷村(阿部)さん

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和三十六年（一九六一年）

一月十五日 青年部新春の集い開催（仙台市労働会館）

六月 支部道場建設用に長町の水田六十坪取得

教勢 「六法座 一、六三二世帯」

十一月 支部道場建設作業本格化

六月一日 会費百円に改定

「上を向いて歩こう」流行

昭和三七年

三月六日 青年部役員練成会に参加（七面山）

六月一日 会員綱領を発表

東京世界初の一千万都市

七月二二日 第三回全国運営委員会に参加（大聖堂）

九月三日 庭野日敬会長先生のご巡教を頂き

宮城県布教大会開催（レジャーセンター五千名参加）

教勢 「六法座 一、八七九世帯」

十一月二八日 仙台支部発足三周年記念式典（日の出会館七階ホール）



【昭和三五年頃 青年部錬成大会】



【昭和三六年 一月 青年部新春の集い】







【昭和三六年頃 お話と映画の集い】



【昭和三七年 青年部役員練成会（七面山）】  
 男子部 畑部長、阿部庶務、半沢  
 女子部 安田部長、二瓶（妹）佐々木、谷村



【昭和三七年 第三回全国運営委員会】  
 畑男子部長、阿部庶務、安田女子部長



佐藤高代さん（宮城野支部支部長）の体験

「仙台教会発足五十周年おめでとうございます。そして、私もまた現役の支部長として、支部の多くの信者さんと共に迎えることが出来るのは、この上ない幸せと、深い感謝でいっぱいです。

広瀬川の畔、遠正さんの二階を借りて発足したとき、高校一年生でした。八畳三間続きの座敷が法座席と戒名室、廊下の突き当りが事務所。でもいつも信者さんで溢れていました。私にとって特に印象的なのは、一坪ほどの裸電球一つの暗い台所で、大家さんの食事の支度、お当番さん、時には親支部の野崎教会長さんやお役の食事の支度とパニツク状態。小さな流し、石油コンロ一つと七輪が大活躍でした。

当時青年部で日曜日は仙台駅のトイレ掃除に行きました。始発の電車までには間に合わないので、河原町から徒歩でした。当時のトイレは水洗ではないので、汚い、臭いが半端でなく、十分な洗剤や用具もなく、一所懸命みんなで頑張り、帰りはとても身も心も爽快で楽しく修行でき、帰って来ると当時厨房の担当の本多さんが、炊きたたのご飯と納豆を用意してくれ、とても美味しかったのを覚えています。（後略）」

（宮城野支部発足五十周年記念誌より）



【昭和三七年頃 新春若人の集い (松島にて)】



【昭和三七年頃の青年部】



【昭和三七年 会長先生が道場建設予定地（長町）を視察】  
後列左から渡辺教会長、会長先生、佐藤理事、野崎支部長

佐藤理事様と松島訪問

【仙 台 教 会】

昭和三八年（一九六三年）

四月八日 仙台支部修養道場起工式

教勢 「六法座 一、〇九六世帯」

五月三十日 仙台支部修養道場上棟式

九月二十九日 仙台支部修養道場完成

入仏落慶式

十一月二十八日 仙台支部発足四周年記念式典

昭和三九年

三月三十一日 第三法座所が石巻支部に昇格

野崎支部長が石巻支部長に転任

【教 団】

【社会の動き】

九月十四日 庭野日敬会長先生 ケネディ大統領暗殺

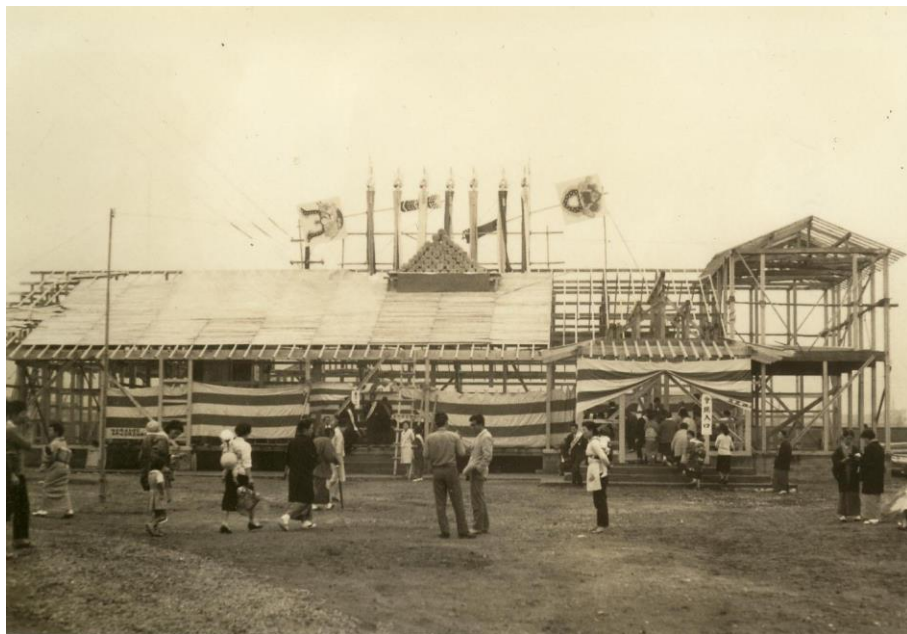
ローマ教皇パウロ六世と会見

東海道新幹線開通

東京オリンピック開催

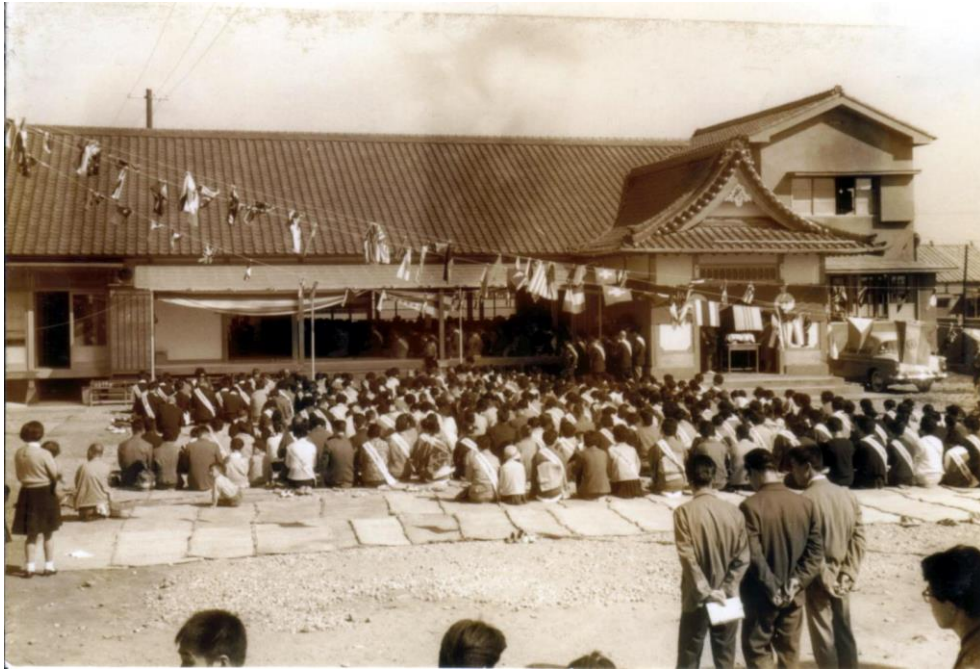


【昭和三八年 五月 仙台支部修養道場上棟式】



【昭和三八年 九月 仙台支部修養道場入仏落慶式】

入りきれない会員さんはむしろをひいて参拝しました



青年部による奉獻の儀





長町修養道場 完成直後の外観



2階会議室



【昭和三八年 大曼茶羅勸請式 (本部)】  
二列目中央 渡辺東北教会長、向かって左隣 野崎支部長



大曼茶羅を会長先生から拝受 (野崎支部長)



【仙台支部に大曼荼羅勧請】





【昭和三九年 野崎支部長さん送別会】  
野崎支部長



男性和地主任

